

景況レポート・7月

7月の県内景況は、円安の影響による原料費の高騰等及び、長引く梅雨により売上に悪影響を及ぼす。

情報連絡員による平成25年7月の県内中小企業の景況は、業界全体として「低調」とするところが44.1%（前月比-0.9）、「横這い」は33.9%（同+0.6）、「好況」は22.0%（同+0.4）となっており、業界全体の「景況感DI」は-22.0（同+1.3）となっています。

1. 全産業の項目別前年同月比 DI 値の動き

- ◇「売上高」「取引条件」が前月と比較して減少しています。
- ◇「在庫数量（製造・商業）」が前月より10ポイント以上プラスに転じています。
- ◇「販売価格」「資金繰り」「設備操業度」「雇用人員」が前月と比較して改善しています。

2. 業種別の「業界の景況」

- ◇前年同月と比較して、木材木製品製造業、その他の製造業、サービス業、建設業は「快晴」または「晴れ」、鉄工機械製造業、卸売業、小売業は「曇り」、その他の業種は「雨」または「大雨」となっています。
※DI値 +30以上「快晴」 +10～+30未満「晴れ」 -10～+10未満「薄曇り」
-30～-10未満「曇り」 -50～-30未満「雨」 -50以上「大雨」

3. 個別の報告の概要

- ◇食品製造業、紙・紙加工品製造業、印刷製造業より、円安による原材料の高騰等の影響について報告があります。
- ◇食品関係、旅館業、商店街を中心に、長引く梅雨の影響による販売不振、売上高の減少について報告がありました。

来月の見通しは、好転、やや好転の見込みとの回答が20.3%（前月比-6.3）と減少しております（好転の回答2件、やや好転の回答10件）（製造業3、非製造業9）。また、やや悪化、悪化の見込みは、30.5%（前月比+12.2）と増加しております。変わらないが、49.2%（前月比-5.8）と減少しております。

平成25年7月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率98.3%）

木材・木製品製造業

<製材業>

長梅雨で原木の出荷量が例年より少ないことから、原木価格は7月下旬から少しずつ回復基調にある。一方、地場の製材工場は引き続き復興住宅需要等に支えられ手堅く仕事を行っている。

<外材輸入>

製材品の出荷量は順調に推移しており、新設住宅着工数の増加を反映しているものと思われるが、高コストの原材料に対し販売価格は伸び悩んでおり、なお一段の値上げが課題である。

鉄鋼・金属・一般機械製造業

<鉄工>

（郡山地区）
一部であるが人手不足があるようだ。

<各種プラント機器>

当組合のプラント設備関連業界は、売上高、収益状況とも前月比でもほぼ横ばい状況である。見積もり引き合いを見ても、前月に比べ減少傾向にある。今後も引き続き、厳しい状況は変わらない模様である。

繊維・同製品製造業

<ニット>

秋冬物は、業界全体として好調である。

<縫製品>

秋冬物の生産に入ったが、全体的に受注量も少なく、販売価格も低下し全体的に悪化している。

紙・紙加工品製造業

<紙器・段ボール箱>

段ボール箱業界は被災後の厳しい環境下、原油をはじめとした各種原料価格の高止まりを背景として、再生産可能な利益水準の確保と製品の安定供給継続のため、一昨年以来段ボール製品価格の修正に、各社それぞれ取り組んでいる。印刷紙器業者は原紙を含む資材の値上げが行われ一段と厳しさが増した今、業界のさらなる進歩が求められている。貼箱業界は今後の動向を分析しながら、経営の安定と組合員相互による情報の収集、提供、質の向上を探っている。

印刷業

<印刷>

用紙や原材料の値上げの影響が、これから本格化するので収益面は厳しい見込みになりそうである。

窯業・土石製品製造業

<陶磁器>

毎年のことだが、8月のせと市出品のため、商品の共販所への供給が少なくなる。売上は昨年と変わらない。八重の桜効果も会津若松までである。

<砕石>

（県北地区）

1. 当月売上高の前月比 約11%の増
2. 当月売上高の昨年同月比 約50%の増
3. 今年度累計の昨年対比 約68%の増
4. 原因・状況 福島市・伊達市発注の放射線除染工事へ納入で増となった。

<生コン>

平成25年7月の組合員生コン出荷数量は、160,738㎥と対前年同月比18.4%の増。東日本大震災等で被害を受けた道路、建物、港湾等補修工事での増加が主たる要因。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比4.3%の増、官公需が24.3%の増であった。

■民需の動向

対前年同月比 4.3%の増

①対前年同月比増加地区

<白河地区> 51.8%の増

工場、倉庫新築工事等

<いわき地区> 12.7%の増

工場新築工事等

<相双地区> 110.9%の増

原発保安対策工事、常磐道工事等

②対前年同月比減少地区

<県北地区> 1.7%の減

工場、店舗新築、建替工事等

<県中地区> 29.4%の減

工場、店舗新築、増築工事等

<会津地区> 30.9%の減

倉庫新築、民間住宅工事等

■官公需の動向

対前年同月比 24.3%の増

①対前年同月比増加地区

<県北地区> 7.5%の増

栗子トンネル2期工事、東北道福島JCT工事等

<県中地区> 29.7%の増

再生可能エネルギー研究所工事、災害復旧工事等

<いわき地区> 55.9%の増

小名浜港7号追悼地区岸壁復旧工事、小名浜西防波堤工事等

<相双地区> 76.0%の増

海岸保全施設整備工事、相馬港災害復旧工事等

②対前年同月比減少地区

<白河地区> 29.3%の減

県営、市営住宅災害復旧工事等

<会津地区> 52.3%の減

道路・橋梁復旧工事等

食品製造業

<漬物>

良い会社と悪い会社がある。全体的には低迷している。

<パン>

会津地区は観光的に良好のようである。相双地区は絶望感を受けている感がある。

<味噌醤油>

原材料が値上がり始めており、資材等もその傾向は同様で、高騰している。出荷量、売上が低迷し、製造コストアップが重なり状況は厳しい。取引先が回復せず、組合員の今後の事業運営に影響がでてくるのではと懸念している。

<菓子>

天候不順が続き、顧客の出足が悪かった。業界全体的には、昨年の売上をカバーするのが容易でない。いまだに風評被害を感じる。

<乾麺>

東北地方は最盛期の7月、梅雨があげず販売不振！関東は天候がよく売れ行きはまずまず！乾麺業界は景気より天気の様子です。残すところ3週間で挽回できない。原料値上げに販売不振、今年は真っ暗闇です。シカゴの小麦相場はやや下げぎみ。これ以上円安にならないでほしい。

<酒造>

全体的に伸びが悪い。原料・資材の値上げにより厳しい状況が続いている。価格の値上げを検討している組合員もいる。八重の桜の影響か会津若松支部の伸びはいい。

<食品団地>

原材料の高騰が続き、厳しい状況が続いている。また、天候の影響もあり、季節商品の売上が伸び悩んでいる。

小売業

<共同店舗>

（県中地区のNショッピングセンター）
仕入商品等の値上げによる利益の減少対策が必要。

<石油>

元売の仕切価格が大幅に上昇。これに伴い小売価格が上昇した。しかしながら長引く梅雨による需要の減少と仕切上昇分の未転嫁が重なり経営を圧迫している。

<青果>

全体として7月は長引く梅雨の影響により野菜の生育が遅れ、葉物が品薄、単価の上昇が目立った。昨年よりも単価が高騰しているものの小売店の取り扱いが伸びず売上の増加にはつながらなかった。小売店としても品物のロスになるべく出さないように苦労している。来月の桃の取り扱いが、昨年と比べ増えることを期待したい。

<電機>

合展などにより若干売上は良くなっているが、このところの低温気候のためエアコンなどの動きが止まり、見込みに達していない。全体的に落ちている。今後の猛暑に期待。

サービス業

<旅館業>
(土湯温泉)

天候不順や震災支援の減少により、観光客入込数及び売上高が前年を下回りつつある。震災に対する風化が懸念される。

<理容業>

前半は天候にも恵まれ順調だったが、後半は雨続きで客足は鈍かった。例年夏休みに入ると子供客が海やプール等に行くので夏向きのヘアースタイルに忙しくなるのに、この天候ではそれもない。クールビズヘアや冷シャンプーも出だしがよかったのに残念。西のほうは連日猛暑のようだが、東北はいまだに梅雨明けもしない。天候不順がすべての商売に影響するので夏は夏らしくならないと、福島が誇る果物である桃にも影響するだろう。

<廃棄物収集運搬業>

組合業務は落ち着いています。廃棄物の処理については産業廃棄物に関する問合せは多くなりましたが、処理先が県外の場合は福島発ということで取引先がやりにくいです。県内の処理先も震災の関係か条件(処理費)がきつくなっています。

商店街

<福島市>

選挙のときは、売上低調に加え、天気も悪く人手がなかった。今までになく低調だった。

<郡山市>

今月は微減であるが、前月比も前年同月比も減少してしまった。長梅雨の影響は商店街にもあるような気がします。豪雨の被害は幸い当商店街にはなかったが、近隣地域では浸水の被害がでている。現在被害回避のための地下道工事が進んでいるが、完成にはあと数年待たなければならない。大震災の被災地への支援策も様々出てきているが、用途が限られるのでなかなか申し込みまでいけないのが現状です。

<南相馬市>

全国商店街振興組合連合会の補助を受け、地域商業活性化事業に取り組んでいて、お中元・お盆と重なり、忙しい状況が続いている。しかし原発避難から人口減は解消されず相変わらず街全体としては、低調が続いている。

<会津若松市>

ファッションショー「ガモコレ」が開催されました。市民と大熊の方々がモデルとなり、お気に入りの洋服で楽しそうにランウェイしました。商店街としても初めてのイベントで地域の皆さんに楽しんでもらえて良かったです。

<いわき市>

不安定な天候が続いて、アパレル・服飾雑貨等の夏物の動きが鈍い。夏のセールも例年の勢いはなくなり「必要なものを必要な時に買う」という感じがする。去年とは全く違う天候にお客様もとまどっているようだ。本格的な暑さの到来を待つ業種も多い中、飲食関連は相変わらずの好調を維持している。8月の七夕は好天に恵まれるよう期待している。

運輸業

<トラック運送>
(県北地区)

トラック運送業界は、燃料費高騰、高速料金の負担、風評被害による需要の減少や熾烈な競争、運賃の低迷が続き、加えて電力料金の高騰、金利の高騰、安全・環境へのコスト負担増等厳しい環境におかれている中で第一原発から高濃度の汚染水が1日300トンの海洋流出が明らかとなったとの報道には怒りを感じざるを得ない。このようなことで福島県は本当に復興できるのであろうか。

<ハイヤータクシー>

前月比、前年同月比とも今月は微増となる。少し動いてくれたようである。しかし来月はお盆休み等でまた動きが鈍るか。

卸売業

<卸売業>
(県中地区)

食品に関しては、前半暑い日が続いたため、飲料品を中心に回転が早かった。また7月は中元品の時期でもあるので、全体的に売上が伸びたが前年比でみると大きな変化はない。事務用品については、ここに来て復興需要に一服感があるものの、今後公共機関による予算執行も見込まれており、期待感が高まっている。ただし、最近予算がタイトであるため入札が不調に終わるケースもあり、改善を望む声も聞かれるようになった。

<再生資源>

最近の異常気象と地区によっては豪雨被害も多発している中、農作物の出荷状況も気になるころではある。御中元販売による流通の活発化により、若干の商品発生増は見込めるが、福島地区においては震災以降の再生資源の発生減は、いまだ回復傾向がみられず、業界的には商品発生不足が続いている。

<青果>

青果物は高温、干ばつの影響で産地出荷が早まり品薄状態となって価格高となった。本年4月～6月、前年度同月の実績低調と対比しての収益改善であり、震災前までの状況には至っていない。

<建設業>
(県一円)

平成25年度県内の発注者別、金額ベースの状況は、県は前年比では横ばいもしくは減少傾向にある。ただし国(環境省)、市町村は除染関連事業の発注が多くを占め、前年比では増加傾向にある。(県南地区)

除染業務以外の通常工事の受注が減少している。建築は住宅や工場増設などの受注が増加している。除染業務の作業員不足は、大手ゼネコンが受注するケースが増えてきたため、全国各地から作業員が集まってきており、地元建設業の限界が見えてきた。

<管工事>

前月比で給水設備申請が増加、排水設備申請が減少。前年同月累計対比でも、給水設備申請が増加、排水設備申請が減少している。

<専門工事>

月初めに猛暑に見舞われた後で、低温の梅雨が月いっぱい継続し、湿度が高い状態が続いている。8月からは気温も上昇する予定なので、十分に体調に気をつける必要があると思われる。仕事に関しては、現場の価格上昇に対して予定価格が追いつかない状態にあり、人員不足も相まって期待される仕事を順当に処理できない状態が続いている。

景況天気図 7月

天気図の見方

各景況項目について「増加」(または「好転」)業種割合から「減少」(または「悪化」)業種割合を差し引いた値(D・I値)をもとに作成。その基準は右表のとおりである。

D・I値基準値

☀ 快晴 30以上	☁ 曇り -30~-10未満
☀ 晴 10~30未満	☔ 雨 -50~-30未満
☁ うす曇り -10~10未満	☔ 大雨 -50未満

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食品製造	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
繊維製品製造	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
木材製品製造	☁	☀	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☀	☀
鉄工機械製造	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
その他の製造	☀	☀	☁	☀	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☀
卸売業	☀	☀	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
小売業	☁	☁	☀	☀	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁
商店街	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
サービス業	☀	☀	☀	☀	☁	☀	☁	☁	☁	☀	☀	☀
建設業	☁	☀	☁	☀	☁	☀	☁	☀	☁	☀	☁	☀
運輸業	☀	☀	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁

伊勢神宮にお酒を奉納

遠野産業振興事業協同組合では復興日本酒を企画しました。いわき産の新米コシヒカリを使い、会津高郷の酒造会社に委託して製造しました。このたび、伊勢神宮第六十二回神宮式年遷宮に際し、いわき遠野「復興酒」を奉納しました。当組合では、この伊勢神宮に献上した「復興酒」と同銘柄酒を販売しております。復興酒は、いわき遠野の純米酒：純米酒辛口、月あかり：黄色ラベル純米吟醸酒ほのかな辛口、THE SAKE IWAKI：純米吟醸酒ほのかな甘口、他に満月祭の計4種類あり、500ml・720mlの2タイプで販売しております。

お問い合わせは下記のとおりです。

遠野産業振興事業協同組合 いわき市遠野町上遠野字川張26番地の1
電話 0246-74-1112
株式会社いわき遠野らばん いわき市遠野町上遠野若宮60-1
電話 0246-89-3125

